

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育振興費

事業名 医療的ケア児校外学習活動充実事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 特別支援教育課 教育企画係 電話番号：058-272-1111(内8687)

E-mail：c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,875 千円 (前年度予算額： 3,071 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,071	750	0	0	0	0	0	0	2,321
要求額	1,875	447	0	0	0	0	0	0	1,428
決定額	1,875	447	0	0	0	0	0	0	1,428

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・医療的ケアが必要な児童生徒が参加する校外学習及び校外行事(泊を伴う教育活動、修学旅行)には保護者付添を依頼しているため、保護者の負担が大きい。
- ・児童生徒の自立と社会参加を促す観点からも、保護者付添の軽減の要望有
(長良特別支援学校・岐阜希望が丘特別支援学校の保護者との医療的ケア意見交流会、岐阜県重症心身障害児(者)を守る会)
- ・緊急時の対応や安心・安全な医療的ケア実施の担保が必要
- ・校外学習等の安心安全な実施には、綿密な計画立案(行き先、活動内容、教職員と看護師との連携等)が必要

(2) 事業内容

- 校内医療的ケア実施体制の整備(学校教育が安全・安心に行える体制の整備)
- ・特別支援学校13校を実施校に指定(岐阜聾学校、長良特別支援学校、岐阜希望が丘特別支援学校、岐阜本巣特別支援学校、羽島特別支援学校、揖斐特別支援学校、大垣特別支援学校、郡上特別支援学校、関特別支援学校、可茂特別支援学校、東濃特別支援学校、恵那特別支援学校、飛騨特別支援学校(高山日赤分校))
- ・日常的に医療的ケアが必要な児童生徒が、校外学習・校外行事(泊を伴う教育活動)に参加する場合に看護師を派遣(保護者付添いの負担軽減)
- ・医療的ケアが必要な児童生徒の自立と社会参加の推進

（３）県負担・補助率の考え方

・医療的ケアのための看護師配置事業（切れ目ない支援体制整備充実事業）
国庫補助率1/3

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	519	看護師派遣業務委託
旅費	413	外部看護師、指導医
使用料	259	介護タクシー代
役務費（保険料）	450	看護師賠償責任保険料
報償費	234	指導医謝金
合計	1,875	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

第４次岐阜県教育振興基本計画

（２）国・他県の状況

・「学校における医療的ケアの今後の対応について（通知）」（平成31年3月20日30文科初第1769号文部科学省初等中等局長）

校外学習における医療的ケアの実施については、教育委員会及び学校は、児童生徒の状況に応じ、看護師等による体制を構築すること。

・「公立特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする幼児児童生徒の学校生活及び登下校における保護者等の付添いに関する実態調査（送付）」（平成29年4月7日事務連絡文部科学省初等中等局特別支援教育課）

スクールバス乗車中における医療的ケアの実施の要否など主治医の意見を踏まえながら、個別に対応可能性を検討し判断

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

医療的ケアが必要な児童生徒が通学する特別支援学校（実施校）において、校外学習及び校外行事（泊を伴う教育活動）に看護師を派遣し、安心安全に校外学習等を実施できるように検証する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

校外学習等に看護師を派遣し医療的ケアを実施することが事業内容であり、指標の設定になじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、予定していた校外学習の中止や変更することが多かったが、学校ごとに対応し令和2年度より多く校外学習を実施することはできたが、十分な検証はできなかった。 実施校：13校 実施回数：114回 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあったが、令和3年度よりも多くの校外学習を実施することができた。 実施校：15校 実施回数：159回 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	・年度途中より、泊を伴う校外学習についても、看護師の同行により実施することができた。 実施校：15校 実施回数：188回 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	・医療的ケアが必要な児童生徒の自立や社会参加の推進につながる。 ・令和3年度の「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」施行以降、医療的ケア児やその家族への支援の必要性は年々高まっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	・医療的ケアが必要な児童生徒の自立と社会参加を推進することができた。 ・保護者の負担軽減につながっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	・対象となる案件や手続きの進め方等を見直し、よりよい実施方法となるよう検討を続けている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 安心安全に校外学習を実施するための、計画立案、教職員と看護師との調整方法等の確立。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 可能な限り医療的ケア児の学習機会の補償や保護者の負担軽減につながるよう、継続して事業を実施し、実施校における実績等から今後の事業展開について引き続き検討する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	